

# 令和3年度 第12回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和4年3月29日(火) 18:00~19:30

【場 所】 望来コミュニティセンター多目的ホール

【出席者】 15人(15人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	○
副会長	東 幸子	○	委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	○
委員	石田 靖子	○	委員	今 光江	○	委員	村本 龍一	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	森田 瞳	○
委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	○	委員	八木沼 英晃	○

※会長・副会長を除き、あいうえお順

企画経済部 ~中西次長

厚田支所 ~東支所長

地域おこし協力隊 ~飯塚隊員、奥本隊員

事務局(地域振興課) ~永塚主幹、佐藤主査、寺尾主査

【傍聴者】 2名

- 【次第】
1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 情報交換会(リラックスタイム)
  4. 協議事項
    - (1) 第9期厚田区地域協議会の運営について(継続協議5回目)  
「移住定住の促進に向けた情報発信について」
  5. 報告事項
    - (1) 厚田区集落支援員「あつクラ」の着任について
    - (2) 厚田区地域おこし協力隊の募集結果について
    - (3) その他
  6. その他
  7. 閉会

## 1. 開会

### 【 (厚) 地域振興課 永塚主幹 】

皆さんこんばんは。厚田支所地域振興課の永塚です。地域振興課長 高田が所要により欠席しておりますので、私から、今委員から若干遅れるとの連絡を受けたことをご報告いたします。

また、本日の協議事項の議題が、移住定住の促進に向けた情報発信ということで、渡邊会長より、現在、厚田に移住し活動中の、地域おこし協力隊の二人からも意見を伺いたいということで、協議の輪に入っていただきますので、ご了解ください。

それでは令和3年度第12回厚田区地域協議会を開会いたします。渡邊会長ご挨拶よろしく願いいたします。

## 2. 会長挨拶

### 【 渡邊会長 】

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今朝から新庄監督がどうやって登場するのかワクワクしていたのですが、協議会があるということで若干ショックを受けております。今日は、リラックスタイムの中で、実際に移住定住を促進している先進地の方のインタビュー動画などを見ていただき、後の協議事項に繋げていただければと思います。それでは早速用意をお願いします。

## 3. 情報交換会 (リラックスタイム)

東川町ホームページの移住定住プロモーション動画、石狩市農業総合支援センターホームページの新規就農者のインタビュー動画を上映

### 【 渡邊会長 】

今我々は移住定住に特化した協議をしておりますが、将来的にこういったホームページで厚田を紹介出来たら良いなと思います。それでは協議事項に移りたいと思います。

## 4. 協議事項

**① 第9期厚田区地域協議会の運営について (継続協議5回目) ~ 「移住定住の促進に向けた情報発信について」**

資料：1 移住定住の促進に向けた情報発信について

### 【 渡邊会長 】

本日は、移住定住で厚田に来られた方、元々厚田に住んでおられた方から、それぞれの視点でのお話をいただきたいと思います。同じ意見に聞こえても、個人それぞれの背景もありますので、微妙に違うということもあります。それでは、資料の説明をお願いいたします。

### 【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

今日の協議にあたりましては、具体的に聞きたいことを何項目かに分け、例として記載しております。ある程度、この内容をイメージしてお話頂ければと思います。参考までに下段の方はこれまでの意見を項目ごとにまとめたものを記載しています。

### 【 渡邊会長 】

では、本日協議に加わっていただいた、地域おこし協力隊のお話からしていただきたいと思います。奥本隊員からお願いします。

### 【 地域おこし協力隊 奥本隊員 】

地域おこし協力隊を考えた時に、厚田は札幌から丁度良い距離で、気軽に札幌に行くことができるし、海が近い、夕日が見えるということで厚田に決めました。関東圏の人は往復3時間ぐらい掛けて通勤し生活をしていますので、それを考えると車で1時間ちょっとで札幌まで行けますので、厚田から札幌で仕事というのもありだと思います。

冬は厳しいこともありますが、それでも今年は5日あるかないかぐらいだったかと思います。働き方改革もあり、大抵の会社では、吹雪などで道路状況が悪い場合は、無理に出勤ではなく、休むのもしようがないという雰囲気にもなっていると思いますので。ただ毎日だと札幌の市街地の運転はやっぱりつらいので、石狩市役所あたりに車を止める場所があって、そこからだと始発のバスになるので必ず座って通うこともでき、身体的にも楽だと思います。

地元は札幌ですが、厚田は暮らしにくいとは思っていないので、今は厚田に来て良かったと思っていますし、もっとこれから暮らしを楽しんで行きたいと思っています。

### 【 地域おこし協力隊 飯塚隊員 】

大学生の時に協力隊になりました。その時は厚田のことを全く知らずに来たので、来てみたらめっちゃめっちゃ田舎で、アクセスも調べずに来ちゃったので、2ヶ月ぐらい車無しの生活をしていましたが、意外とAmazonで買い物すると2日程度で届くし、あまりスーパーで購入するのと変わらないので、何が言いたいかと言うと、住んだら意外と出来るということがメリットでもあり、逆に言えば、その第一歩が一番難しいのかなあと思うので、やっぱりお試しで体験したりすると、意外と生活出来るんだなあと感じてくれるのではと思うのですよね。仕事もコロナ禍により、急速にテレワークが普及して、進んでいる田舎では積極的にサテライトオフィスとか見掛けますが、なんにせよ住んでみたら生活出来るなあと感じることが出来ると思うのですよね。

学生の目線から言えば移住ということはちょっと重過ぎるというか、田舎にずっと住み続けるみたいなプレッシャーがあると思うのですが、厚田に住んでいる皆さんと一緒に、僕は住んでいるプレッシャーは感じたことが無くて、だからこそ結果的にずっと住み続けるみたいというところが実はあると思うのですよね。住み続けるという目標ではなくて、関係人口的な関わり方として、夏や冬の間、イベントの時だけに来るとか、そういう関わり方もあると思うので、まずは住んでみる、感じてもらうお試してみたいな環境があればいいと思っています。

住んでみると意外と生活は苦ではないので、埼玉の実家でやっていたこととあまり変わらないと思うことが最近多いです。札幌に住んでいる人は感じないかもしれませんが、埼玉とか関東に住んでいる人からすると、星が見えるということは凄いことで、星が一切見えなかったのが、埼玉県民は海があることに感動するし、山も無かったので、いろいろと無いものが厚田にあるので、住んでいる皆さんはわからなくなっているかと思うのですが、そういう身近な良さみたいなのがいっぱいあるので、そういう良さを見つけて感じてもらうためにも移住とか関わりしろの情報があるとうれしいと思います。

### 【 渡邊会長 】

厚田区には別荘も多くあるので、その中でもしかしたらテレワークをされている方も結構いるのではと、飯塚くんの話聞いて思いました。関係人口を増やしていく中で、本人が住んでみたいと思う部分と、家族の問題もあると思うので、奥さんやお子さんの意見も大事なのではと思いました。

### 【 小山委員 】

結婚を機に厚田に来ました。私も外から来た者ですが、もともと田舎に住んでいましたので、そんなに不自由は無かったのですが、来た時は免許を持っていなかったのが、子どもが生まれ小児科に行くのも、子どもをおんぶして手を引いてバスで行っていました。これは免許を取らなければと33歳の時に免許を取りました。それからは、花川や札幌が近いので、意外と住めば都ではと思っています。海もあり、海水浴ができ、子どもたちも伸び伸びと育て過ぎたくらいです。

自分が他の地域に移住するとしたら、若い世代ですと生活の糧となる仕事、病院、交通の便、スーパー、学校の情報でしょうか。こういう情報が家族連れで移住するとしたら、これがネックになるのではと思います。厚田に目的がある方はいいのですが、農家や漁師の手伝いをしながら厚田に住んで自分で何かやろうという方にしたら、やっぱり飯塚くんも言っていましたお試し移住で、住宅をこちらで用意して、生活の資金はアルバイトしながら生活をしてもらい、厚田はこんなところなのだ、暮らしやすいところなのだ、不便なところなのだと感じてもらうことが、まずは必要ではと思っています。

#### 【森田委員】

私の移住の決め手になったのは、私の夫が十勝の中札内村で地域おこし協力隊の時に出会ったのですが、3年過ぎて夫が実家の札幌に戻るということでしたので、私も付いていくこととして、札幌周辺で仕事を探していた時に、ちょうど石狩市役所に友人がいて、石狩の地域おこし協力隊の募集の情報もらって、当時中札内村の協力隊や、他の地域のおこし協力隊を見たりしていたので、正直どうだろうと思っていました。石狩の地域おこし協力隊のことを調べた際に、地域の方が協力隊の方がこういうことをしてもらいたいとか、こうすべきではないかなど、たくさん話し合いをしているのを見て、こんなに一生懸命にやっている地域だったら、大丈夫だと思ったのが決め手です。他の地域も調べたのですが、こんなに一生懸命に頑張っているところが無かったので、安心して応募させていただきました。

移住のメリットは、私は道内から移住したのですが、同じ道内ですけどまったく景色も違い、私は山出身なので、海がきれいで魚も美味しくて、お米も作っていない地域だったので、お米も美味しいし、新しい発見がたくさんあることが移住のメリットだったと思います。

来る前に欲しかった情報は特になく、飯塚くんが言っていました住んだら意外にいけるという感じで、冬はちょっと心配していたところはあったのですが、住めば何とかなるのでは、除雪もしようがないみたいな感じでした。移住して8年目になりますが、他の地域へ引っ越すことも出来るのですが、住むことによっていろんなコミュニティが出来ると離れにくくなるということが正直あって、たくさんの方と最初に交流すれば、中々次の町へという気持ちは薄れていくのではと思います。

この話には関係ないかもしれませんが、鷹栖町で議会を開催するポスターを作っており、それがすごく面白いポスターとネットニュースになっていました。そのポスターを見て、住んでみたいという人がいるというのを聞いて、すごく意外なところから移住へのきっかけは生まれるのだと感じました。なので、景色がきれいとか食べ物が美味しいとかの他に、厚田ならではの何か面白いことがあれば、それが起爆剤になるのではと感じました。

#### 【渡邊会長】

何がきっかけになるのかは人それぞれ違うと思うので、いろいろな試みをする必要ですね。

#### 【平賀委員】

こっちに来たきっかけは、平成14年に父が亡くなった時に、隣の家の方に母親を一人残して大丈夫なのかと言われ、その年の11月に東京から戻ってきました。これがなければまだ、東京で働いていたと思います。帰ってきた当時、近くに若い人も多く自分と近い年齢の方がいたので、自分としては住みやすかったです。

帰ってきた際には当別での仕事を決めていたので3年ぐらい働いて見切りを付けて、本格的に家の本業の仕事をしながら農家や漁師の手伝いをしています。発足から抜け出せない状況なっていますが、住めば都だと思っています。

若い方だと仕事があるのかだと思いますし、お年寄りの方だと免許を持っていないければ、足の確保をどうするかという心配もあるのではと思います。良い面を情報発信することも大事だと思いますが、デメリットの情報も発信しないと、来た時に何か違うなとなってしまうと思うので。厚田区は広いので、それぞれの地域でお試しする施設があればいいのではと思います。

#### 【 渡邊会長 】

デメリットもしっかりお知らせするという事は大事なところですよ。私がみよし園に勤めていた時に、セイマートが夜6時に閉まっていたことがあって、独身の職員が会議の前に弁当を買いに行ってくるそんな時期もありましたので、こういうデメリットをお知らせすることは必要ですね。

#### 【 丸山委員 】

厚田に来る前にあればよかった情報は、暴風雪ですね。1年目はそうではなかったのですが、2年目3年目は、自分の公宅の前だけいじめのように吹き溜まりがすごくて、帰ってからの雪掻きが大変で地獄のようでした。それ以外厚田はメリットしかないと思っています。厚田学園はどこの学校にも負けないと思っています。子どもたちが見つけたあつたびのテーマ、食と景色はいいとこついているのではと思っています。食では、前浜、八幡二、一純には毎週食べに行っていますが、大盛にしてくれたり、1品付けてくれたり、皆さんに愛されて3年間過ごすことが出来ました。景色についても、夕日や海の景色は絶景で、皆さんは見慣れているかもしれませんが、まだ自分は見慣れず、厚田学園の3階からの景色を楽しんでいます。

#### 【 角野委員 】

石狩の農業研修を受けたので、市内のどこかで就農することは決まっていたので、その中で妻の意見で厚田に決めました。特に情報も集めず厚田に決めて、担い手センターから空き家や病院、保育園、小学校などの情報で十分でした。僕の仕事は卵作りなので、自分で売りに行かなければいけないので、当初1日600個60パックを売れば生活ができるので、札幌という大きな市場が近くにあり、60パックであれば捌けるなと思い、厚田の中でも比較的札幌に近い望来を選びました。

僕も四国の田舎で育て、自分が経験した以上のことを子どもにしてあげたいと思って、そういうことも含めて、厚田しかないのではと思いました。

移住のメリットですが、子宝ですかね。今、子どもが4人いるのですが、来月5人目生まれます。たぶん、普通のサラリーマンだと育てられないのではと思っています。

#### 【 渡邊会長 】

中々サラリーマンで5人の子供を育てるのは大変ですよ。大自然の中で、子どもの幼少教育としてもいいのではと思いました。

#### 【 角野委員 】

東川町など他の地域では支援策がありますので、移住への支援策があればいいと思います。

#### 【 渡邊会長 】

これがいつも難しいところで、厚田だけに特化した支援という訳にもいかないところで、石狩市という部分もあると思いますので、本当は厚田村のままだったら支援がしやすかったのかもしれないですね。

#### 【 加藤委員 】

仕事で着任したのですが、希望したところに行けるわけではないので、本当に縁があって厚田に来たのですが、決まる前から厚田区に来たいと思っていて、移住の決め手になった情報に近いのではと思っていますが、厚田にいた先生方と会う機会があり、その先生方が口を揃えて人がとてもいい地域で、また帰りたいとおっしゃっている方たちばかり

りで、いろんな地域や保護者の方を見てきた先生方が、帰りたいと思える地域にぜひ行きたいと思っていました。それで住んでみたらその通りだなと思っています。

移住のいいところですが、すべてが自分事になるのではと思っています。子どもが話していたこととかも、自分も行こう、食べてみようと思いますし、地域のお祭りもお客さんで参加するのではなく、地域の一員として一緒に参加するので、先生の立場というよりは、地域の一員としてやっているという意識がありました。来る人拒まずの厚田を、住んでみないと感じられないので、住んで良かったと思います。

来る前に欲しかった情報、あればよかった情報はあまりないのですが、ライフラインとか困った時にどこに連絡したらいいのか、自分は職員なので学校で解決できますが、一般の方だと頼れる方が最初はいないので、そういった情報があればいいと思います。

あとは、車があれば、不便なことは無いですし、お試して来てくれたら、厚田の良さを絶対にわかってくれると思います。

#### 【 渡邊会長 】

ちょっとお節介な町内会長さんがいた方がありがたいのかもしれないですね。

#### 【 笹谷委員 】

私は30歳から厚田に住んでいて、今は49歳ですが、移住とかではなく仕事の関係で来ました。自分のことと言うよりは、さきほどメリット、デメリットの話がありましたけど、自分がもし移住を考えるとしたら、まず地域の情報をホームページで調べようと思うのですが、その地域に住む目的が、例えば定年後にのんびりしたスローライフなのか、自然の中で子どもを育てたいのか、あとは安い家に住みたいのか、いろんな目的があると思います。もちろん、農業やりたいとか、その一つ一つのパターンで案内を発信する仕方。例えばですが、皆さん来る目的は違ったと思いますが、人それぞれ違うと思いますので、その目的にあった発信が出来たらいいのではと思っています。

#### 【 鎌田委員 】

空き家の活用が大切だと思います。ただ空き家を用意するのではなく、室内に家具や家電製品など生活できる程度備えて、気軽に来て滞在できるような環境を整えて、生活する中で農業体験や漁業体験、アウトドア体験など自分の趣味を満喫しながら、田舎の不便さも体験してもらって、住みたいなあと感じてもらえればいいと思います。

#### 【 渡邊会長 】

先ほど笹谷委員が言っていましたスローライフ的な視点ですよ。

#### 【 鎌田委員 】

難しいテーマなので、北海道田舎活性化協議会があるのですが、道庁職員だった大山慎介さんが8年間ほど、ラジオで田舎暮らしの情報を発信していて、今はHBCラジオでパーソナリティをやっていました。

私の考えですが、基金を使って、浜益の地域協議会や支所職員とか、非常にテーマがたくさんあるのでなかなか決められないと思いますが、その中で講演もありかなと思います。

#### 【 渡邊会長 】

前回基金の活用方法についての話もありましたので、今後こういうことで検討するのもいいかもしれませんね。

### 【村本委員】

生まれた時から住んでいるので、自分ももし移住するのであれば、住める家の状況、どんな仕事が近場で出来るのか、買い物など、いい条件で住みたいと思ってきた方が出ていくことのないように、細かいところの情報、衣食住の発信をしていかなければいけないのではと思っています。

### 【渡邊会長】

細かいところの情報は大事なところですよ。

### 【今委員】

私は25歳ぐらいに札幌から帰って来ましたが、その時は何かやりたいなあって思って帰ってきたのですが、仕事が運よく見つかって、漁協に勤めて定年近くになってきた今、年取って車の運転が出来なくなって病気になったらどうしたらいいのかと最近ちょっと思っています。令和2年から石狩湾漁協の本所に通うようになって、帰り道の中で景色とか見ながら、やっぱり厚田に住みたいと思っていて、ずっと住み続けるのだろうなという気がしています。細々と老後は浜の手伝いをしながら食に困らずに生活をするのではと思っていますが、移住や定住を考えている方がこういう生活はどうなのかなあと思っています。

### 【渡邊会長】

昔から住んでいると望来の坂など下って、家が近付くとホッとするとところがありますよね。

### 【大内委員】

私もずっと厚田ですが、高校生の時だけ札幌で下宿していたのですが、札幌だと車の音しかなくて、札幌から帰って来て寝る時に蛙の声を聴いてホッとしていた自分がいました。これからも厚田にいるのだろうなと思いつつ、高台に住んでいるので災害も心配無く暮らせると思っています。

移住・定住をする方には、目的のニーズにあった情報があればいいのではと思っています。空き家活用をしてお試しとかあればいいのではと思っています。

### 【渡邊会長】

お試しというのもポイントになりますね、先ほども話に出っていました。

### 【石田委員】

私も大内委員と同じで、高校の時に3ヶ月ぐらいは楽しかったのですが、その後恋しくなって戻ってきたのですが、両方住んでみて、自分は田舎のこういう感じが合っているのだろうなと思いました。厚田から出ることは無いと思いますが、実家も近いし、心の癒しではないですが、自分にとってはすごく落ち着いた場所だなと感じています。

移住する前に知っておきたい地域の情報とか、暮らしのメリット、デメリットとか、仕事や住まいとか子育てとか暮らしの情報を見るサイトがあるといいのではと思いました。

### 【八木沼委員】

僕は出戻りで10年目になりますが、結婚のタイミングで戻ってきたのですが、厚田の魅力をどう発信するのかというところだと思いますが、来る人にとっての直接的なメリットとして、例えば家を用意するとか、オツと気が引くような策が無いと、いいホームページを作成したとしても、食いついてこないのではと思いました。

僕の友達が厚真町に引っ越したのですが、新築の平屋を月5万円程度で貸してくれて、子ども一人につき手当が支給

されるなど、手厚い支援策だと思いました。

#### 【 渡邊会長 】

特色あるというか、制度があればいいのでしょうね。

#### 【 東副会長 】

私は札幌に20年以上住んでいたのですが、そろそろ結婚したいと思ひまして、農業婚活に美瑛と美唄、石狩に参加しました。最後に参加させていただいたのが石狩だったのですが、望来の坂の景色が、抜けた感じがして、ここで生活ができるのであればいいのでは思ひまして、それも一つの結婚の決め手になりました。美瑛や美唄も景色は悪くはないのですが、抜け感がなくて。結婚して賃貸に住むことになり、全く賃貸住宅の情報がなくて、不動産屋もなく、うろうろしている時に、望来にある佐藤マンションに張り紙がされているのを見つけました。住もうと思ってもオールドスタイルの情報しかないので、ホームページには空き家の情報など必要だと思ひました。

#### 【 渡邊会長 】

いろんな視点があつていいと思ひますし、動機もあると思ひます。ただそれを網羅するようなホームページをこれから作っていかねばいけませんね。

私も東京にも住んでいましたし、京都、札幌に住んでいましたが、やっぱり皆さんと同じでした。厚田に帰ってくるとホッとするということが。そこが田舎の良さでもあるのでは思ひています。やっぱり田舎っていいよねっていう方をたくさん呼んで、逆にそういう方たちを引き込めるような情報発信をみんなで作っていかねばと思ひています。

今日は皆さんから情報発信を含めた中で、意見を頂きました。この意見を事務局で纏めていただき、次回の協議会に活かしていかねばと思ひます。

#### 【 渡邊会長 】

協議事項についてはこれで終わらせていただきますが、丸山委員が異動することになりましたので、今回は最後の協議会となりますので、ご挨拶をお願いします。

#### 【 丸山委員 】

挨拶の前に、厚田学園の情報になりますが、3月13日に卒業式がありまして、あつたびを企画した3名の優秀な子どもたちの感動の卒業式でした。3人とも同じ高校に合格しまして、今後も期待したいと思ひています。3月8日にブロック道徳を行ひまして、私の同級生である十勝バスの野村文吾社長によりオンラインで行ひ、最後まで諦めないというすばらしい内容でした。

私事になりますがこのたび、恵庭の恵み野中学校に異動することになりました。僕としてあと1年は、厚田学園でやりたいこともあつたし、頑張りたいこともあつたのですが、残念無念であります。終業式に子どもたちに二つ話をしました。一つは厚田を愛する気持ちを忘れないように、厚田をもっともっと好きになって、厚田に貢献、活性化まで頑張ってくださいという話をしました。二つ目は人にやさしい人になってほしい、人に愛される人になってほしいと話しました。困った人に手を差し伸べることが出来る人になってほしいという話をして終わりました。私もあつたかい地域協議会のみなさんに支えられて、3年間なんとか頑張つて過ごすことが出来ました。残念無念ではございますが、想いを置いていきます。

子どもたちは笹谷委員のお力で、ピザの新商品の開発に関わらせていただきました。6月18日の土曜日にホタテのピザを販売しますので、必ず来たいと思ひています。厚田は第二のふるさとですので、しょっちゅう道の駅とか来ていると思ひますので、お声掛けしていただければと思ひます。本当に3年間ありがとうございました。

## 5. 報告事項

### (1) 厚田区集落支援員「あつくら」の着任について

資料：あつたの暮らしを支援するあつくら（回覧チラシ）

#### 【 笹谷委員 】

前回の協議会で、事務局から2月25日に厚田区集落支援員の面接を行い、応募のあった1名の採用が決まったことを報告しておりました。また、3月15日の第18回集落支援員制度検討委員会には、採用した集落支援員にも出席していただき、検討委員会との顔合わせをしております。

4月1日付けで着任する集落支援員は、望来出身、在中で、二人の男の子のお母さんである八木沼幸恵さんです。私も選考に関わりましたが、面接の中で、厚田のため、子どものために何かできたらということ、さらには厚田に育ててもらった恩返しをしたいという思いがあることや、小さいことから徐々に繋がりを作って、関係を築いていきたいとおっしゃっているなど、地域の実情に詳しく、愛着心を持っている人という条件にピッタリの人材と感じています。

着任後はどのような展開が生まれるのか、私自身、非常に楽しみにしておりますので、八木沼さんに対する応援とご協力をみなさんをお願いして、私からの報告を終わります。

### (2) 厚田区地域おこし協力隊の募集結果について

#### 【 (厚) 地域振興課 寺尾主査 】

地域振興課の寺尾です。私から地域おこし協力隊の募集結果について、報告いたします。前回の地域協議会で2名の応募があり、3月9日に面接を終えたことを報告しておりますが、現在手続きを進めている状況でありますので、次回の協議会で詳細を報告したいと思います。

### (3) その他

令和4年4月1日付けの人事異動に伴い、異動となる企画課の中西次長と地域振興課の佐藤主査から挨拶。

## 6. その他

全体を通して特に委員から質問等無く、次回の日程を4月27日水曜日18時00分から厚田総合センターで開催することです承。

## 7. 閉会

19時30分に閉会。

### ○次回の日程について

令和4年4月27日(水) 18時00分～ 厚田総合センター2階 ホール

令和4年4月25日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 渡辺 教丹